

法人化した筑後市立病院の現状は

答 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる



松竹 卓生 議員

問 平成23年4月に筑後市立病院は地方独立行政法人化した。現状をどう見ているか。
市長 平成28年度まで独

順調に進んでいるとの評価。独法移行の判断は間違っていないかった。

問 平成28年度は約110万円の黒字決算だが、経常収支比率、医業収支比率はともに100%未満。独法化による譲渡資産の収益化、年度末の業績手当の不支給による黒字決算である。実質的には赤字運営だが、理事長の運営のあり方についてどう考えているか。

市長 原因は、医師の転出による収入減。理事長にはしっかりと仕事をしてもらっている。

問 現理事長の任期はあと1年半。法人運営を任せる理事長にふさわしい人材を選ぶために積極的に行動しては。
市長 そうした観点で私自身も動いていく。

紅葉園跡地は福祉ゾーンとして活用するのか
問 旧養護老人ホーム紅

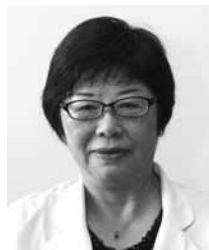
葉園跡地の利用はどこまで進んでいるか。

市長 社会福祉協議会からの要望、福祉センターの近い将来の建替えなども考慮し、土地をどうするか慎重に検討していく。



地方独立行政法人となった筑後市立病院

母子保健の充実とは



坂井 久子 議員

問 母子保健の充実を図るため、産後ケア事業

(※1)の実施と新生児聴覚検査費用の助成は。

市長 母子健康手帳交付時に、ハイリスク妊産婦

に対する支援を判断し、フォローを行う。聴覚検査費用は助成していない。

問 市立病院において産後ケア事業を実施できないか。

健康づくり課長 市立病院の産科は、本年1月から休止。助産師は、10人

ヘルプカードと災害時支援用バンダナの導入は

問 緊急時における障害者支援として、ヘルプカードとバンダナ(※2)を導入しては。

福祉課長 ヘルプカードは、福祉課及び高齢者支援課の窓口においてバンダナは、導入を検討していきたい。

問 聴覚障害者の119番通報手段は。

消防本部警防課長 筑後地域消防指令センターで通報をファクスとウェブで受信している。

問 手話の普及取り組みは。
福祉課長 平成14年から手話奉仕員養成講座を開講している。

答 面談等を通じ、ハイリスク妊産婦を把握し、支援

話ができる人はいるか。消防本部警防課長 現在消防署内にはいない。

(※1)産後の母子の生活リズムづくりや心身の安定を図るため、ショートステイやデイケアの利用を通じて、授乳指導や育児指導を受けることができる事業。

(※2)身につけることで、手話や筆談のコミュニケーションが必要であることを周囲に知らせることができるバンダナ。



ヘルプカードと災害時支援用バンダナ